

トピックス



大阪市北区天満橋 1-8-75 TEL 050-3160-6763
<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

平成23年度 森林・林業交流研究発表会を開催



11月10日～11日、近畿中国森林管理局大会議室において、国際森林年記念「森林・林業交流研究発表会」を開催しました。

近畿中国森林管理局及び各森林管理署等のほか、団体との共同発表や独立行政法人・県関係・高校などから、18課題の発表がありました。

今年度は局長賞3課題の外、特に国際森林年を記念した「国際森林年記念特別賞」を設けるなどして、全体で9課題が受賞しました。

各賞の受賞者は次のとおりです。

★ 近畿中国森林管理局長賞 (3点)

① 鋼製ダブルウォール工法について

三重森林管理署 麻生 崇志



② ケヤキ人工林の造成について

～試験地の整備及び間伐後の経過観察～

島根森林管理署 安田 裕二、赤塚 栄治



③ 低コスト造林への取組

～セラミック苗植栽～

兵庫森林管理署 大西 数磨、井上 欣勇



★ 森林総合研究所関西支所長賞（1点）

植栽本数の違いによる成林状況の一考察

広島森林管理署 石堂 次郎

★ 林木育種センター関西育種場長賞（1点）

防草シートを活用したクズ繁茂対策

山口森林管理事務所 平木 里南

★ 日本森林技術協会理事長賞（1点）

列状間伐における林況変化把握と経営的評価

森林技術センター 中上 真治、山口 歳弘

★ 日本森林林業振興会長賞（1点）

嵐山国有林における地元・専門家・行政との連携について

～「嵐山国有林の取扱に関する意見交換会」を中心として～

京都大阪森林管理事務所 八田 祥吾

★ 国際森林年記念特別賞（2点）

① 夜叉ヶ池の貴重な自然環境を守りぬく

～夜叉ヶ池パトロール 10 周年を迎えて～

福井森林管理署 倉田 弦岳

夜叉ヶ池パトロール員の会 川崎 正俊

② 雪害の山を甦らせる

～安全作業に徹してミッションを遂行せよ～

京都府立北桑田高等学校 森林リサーチ科

西山 瑠美、武田 峻平、田中 良亮、石浦 一幸



前列：発表の審査をする審査員の方々



特別講師：名古屋大学大学院 山田容三 准教授

地域ニュース

「森林を考える岡山県民のつどい」への参加

【岡山森林管理署】岡山県津山市にあるグリーンヒルズ津山にて「森林を考える岡山県民のつどい」が開催されました。当日は、降水確率 60%の予報でしたが、イベント中はあたたかい天候に恵まれ、大勢の来場者で賑わいました。

本イベントは、岡山県北森林・林業活性化促進議員連盟の主催で、美しい森林づくりの推進や林業の振興と地域材の需要拡大を目的に毎年開催されています。

開会式後はホールで、「持続可能な森林」～国際森林年によせて～と題して、鳥取環境大学副学長の東樋口護氏による基調講演があり、ホール周辺では、森づくり県民税のPRをはじめ、木工品の展示販売や木工教室といったテントが並びました。



写真上：一生懸命木工クラフト作りをする子供たち



完成品の一部



写真右：職員の指導の下、つるかご作りをする参加者

当署からは、30名の職員がスタッフとして参加し、つるかご作りや木工クラフト、苗木の無料配布などを行いました。

つるかご作りでは、職員が作ったかごを見本にして自分の好きなサイズのかごを編みます。「今年はこんなが作りたい。」なんて設計図を見ながら作られる方もおられました。出来上がったかごは、一つ一つに個性があって素敵なものばかりでした。

木工クラフトでは、職員が採取したどんぐり、松ぼっくり、枝や樹の輪切りなど材料に、置物やキーホルダー、壁かけなどを作りました。親子で協力して作品を作る様子はとても微笑ましかったです。

無料の苗木配布では、ヤマボウシなど3種類 2500



2011 国際森林年

本の苗木を配布しました。配布前から長蛇の列が続き、苗木はすぐに無くなってしまいました。

今年で本イベントは12回目。

毎年同じ時期に行っているの、リピーターの参加者も多く、「今年もお世話になります。」なんて声があちらこちらで聞かれました。

後日、参加者の方から「土曜日は大変お世話になりました。心配していた雨も降らず、久しぶりに大変有意義な一日が過ごせました。かご編みや木工クラフトなど、沢山作らせて頂きました。来年も是非参加いたしたく、有難うございました。」旨のお手紙を頂き、スタッフとしても、とても充実感のあるイベントとなりました。

関連ホームページ
<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/okayama/>

「アサヒ森の子塾2011」開催へ協力

【広島北部森林管理署】アサヒビール株式会社・アサヒの森環境保全事務所主催の「アサヒ森の子塾」が開催され、昨年に続き広島北部森林管理署が協力しました。

庄原市比和町古頃^{ひわちやうこころ}で、庄原市立庄原小学校6年生児童68名、庄原市立峰田小学校5・6年生児童9名の合計77名が参加しました。

児童達は、アサヒのスタッフによる「森の子体操」、「ノルウェーが開発した環境プログラム」の説明を聞いた後、署職員による創作紙芝居「雨の子レイン坊やの冒険」と森林に関するクイズを解きながら、森林に降る水の循環や大切さを楽しく学びました。

その後、各班に分かれ「丸太切り体験」で各自、切り落とした輪切りをゲット。

各班に分かれて林内の動植物の生態を実感する様子



慣れない手付きでスギの丸太を切っている男児

午後は、「アサヒの森」を各班に分かれ森林管理署で作成した「ネイチャービンゴ」を片手に、森林はいろんな生き物や働きがあることを実感しながら、あっ「ビンゴ」と友達同士で話し合う場面が印象的でした。

最後に、「今日、学んだこと」と題して、参加者が見守る中、各クラスの代表から発表があり、「大きくなったら今日植樹した木の生長をまた見にきたい」、「森林にはたくさんの生き物や役割があることを歩いてみて実感しました」などの感想があり、充実した1日となりました。

関連ホームページ
<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/hirosimahokubu/>

「遊々の森」で出前森林教室 ～旧城山国有林の森を歩く～

【鳥取森林管理署】鳥取市内近郊にある旧城山^{きゆうしやうざん}国有林内において、遊々の森（名称：GO 郷ふれあいの森）の協定相手方である、鳥取市立中ノ郷小学校（校長 升田弘法^{ますだひろのり}）より、1学年児童51名の出前森林教室の要請があり、鳥取森林管理署職員6名が参加しました。

国際森林年のテーマ「森林を歩く」のとおり、同国有林の通称「雁金山^{かりかね}の平和の塔」まで登山を楽しみました。

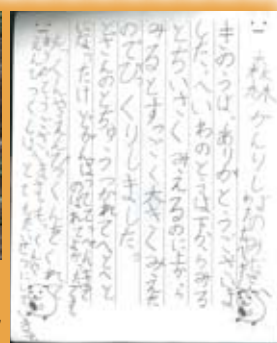
国有林内の歩道入り口の広場で開会式があり、鳥取森林事務所、足立森林官のあいさつの後、職員の森林インストラクターによるネイチャーゲーム「はじめまして」などで※アイスブレイクを行い、ヒノキ立木に測竿をあて、学校の校舎や学校前の電柱よりヒノキが高いかなどのクイズを行いました。

※会議やセミナーや体験学習でのグループワークなどの前に、初対面の参加者同士の抵抗感をなくすために行うコミュニケーション促進のための2人以上で行うグループワーク



小学生を前に挨拶する足立森林官

小学生から森林管理署へ御礼の手紙の一部



登山開始後途中ネイチャーゲーム「カモフラージュ」という、地面に置いたロープの前1mに自然に無い人工物（ミニ人形やカラーボール、毛糸など）を探すゲームをした後、ドングリなどの木の実を拾いながら頂上

の昭和初期の震災慰霊塔の展望台まで上がりました。

心配した天気もこの頃にはよくなり、晴れた空の下で子供達の「ヤッホー、おじいちゃん、おばあちゃん！」などのかわいらしい声が町中に響きました。

クイズの記念品に「えんぴつ君」を渡した後、頂上では「木の実にまつわる〇×クイズ」を行いました。

参加した1年1組の岸本春花さんから「森林管理署の人の案内でおやまのてっぺんまで登ったらとても景色が良かった」との感想がありました。

後日、児童1人1人の心を込めた「鳥取森林管理署の皆さんありがとう」とのかわいらしいクレヨン画と手紙が寄せられました。

関連ホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/tottori/>



【和歌山森林管理署】 高野山古事の森育成協議会と和歌山森林管理署は、「高野山古事の森」の広報活動の一環として、歴史的文化財等の見学を通して木の文化や木のところに触れてもらうため、古事の森の活動に参加しているボランティア等15名による見学会を開催しました。

今年2回目となる見学会は、「高野山古事の森」の保育作業（下刈り）が昨年でひと区切りとなったことに伴い、古事の森に係わる活動が途切れることのないよう引き続き開催したものです。



伽藍中門再建工事作業館の見学

再建用材と大工道具の説明



見学会は、総本山金剛峯寺や和歌山県文化財センターの協力のもと、平成27年の高野山開創1200年記念事業に係わる「伽藍中門再建工事作業館」や伽藍の東側に建つ国宝「不動堂」などを見学しました。

約2時間の見学会ではありましたが、普段では見聞することのできない体験に、参加者から嬉しいお声をちょうだいするなど有意義な一日となりました。

関連ホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/wakayama/>

お知らせ

「学校林・遊々の森」

全国子どもサミット in 京都の開催

◆森林を舞台にした体験活動している、もしくは森林環境教育・森林体験活動に興味のある参加小学校を募集します。締切は2月29日（水）です。

◆協賛企業についても同時に募集します。

記

1. 日時 自 平成24年8月6日（月） 13:00
至 平成24年8月7日（火） 16:00

2. 場所 京都市 知恩院宿坊 和順会館及び
高台寺山国有林外

3. 主催 「学校林・遊々の森」全国子どもサミット
in 京都実行委員会

4. 目的 全国から集まった子どもたちによる森林を舞台にした体験活動発表や、森林や樹木での遊び森林づくりの夢の発表、「学校林・遊々の森」活動を広げていくための先生方の意見交換などを行い、これらの情報発信を通じて、「学校林・遊々の森」活動の輪を全国に広げていくことを目的とします。

5. 内容 学校林・遊々の森での活動報告、学校間の交流、ネイチャーゲーム、講演会、教職員等による森林環境教育に関わる意見交換、自然散策等

6. お問い合わせ先

「学校林・遊々の森」全国子どもサミット in
京都実行委員会事務局：田中、大井
〒530-0042
大阪市北区天満橋 1-8-75 近畿中国森林管理局
TEL 050-3160-6751
FAX 06-6881-3564

7. その他 詳細につきましては、下記アドレスよりご覧下さい。

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/press/sidou/kodomosummit.html>